

## 動脈硬化の検査機器を新しく導入しました。

測定項目は、

- CAVI(血管の硬さ)
- ABI(血管の詰まり)
- 血管年齢

### CAVI(Cardio Ankle Vascular Index)

CAVI(キャビィ)は大動脈を含む「心臓(Cardio)から足首(Ankle)まで」の動脈(Vascular)の硬さを反映する指標(Index)で、動脈硬化が進行するほど高い値となります。大動脈の進展性の低下は心疾患の発症や予後を規定する因子となることが知られており、早期診断と管理に役立ちます。さらにCAVIは頸動脈エコー等で測定されるステイフネスパラメータ $\beta$ 法に基づき算出され、血圧に依存されない血管固有の硬さを表します。

### ABI(Ankle Brachial Pressure Index)

ABIは、下肢動脈の狭窄・閉塞を評価する指標です。上腕と足首の血圧から算出されます。ABIは非侵襲的な検査で数値として評価できるので、PAD患者の早期発見に有用です。

PAD(末梢動脈疾患)は、心血管疾患や脳血管疾患など他臓器障害との合併が多く見られることから、早期発見が重要です。

● ABI基準値  
(ACC/AHA<米国心臓病学会>2005年診断基準に準拠)

1.30 $\leq$ ABI	足首の血圧が高めです
1.00 $\leq$ ABI $\leq$ 1.29	正常範囲です
0.91 $\leq$ ABI $\leq$ 0.99	正常範囲ですが境界領域です
0.41 $\leq$ ABI $\leq$ 0.90	軽～中程度の閉塞 または狭窄の可能性があります
ABI $\leq$ 0.40	重度の閉塞 または狭窄の可能性があります

### 血管年齢

動脈硬化の危険因子を持たない人たちの平均値と対比することで、血管年齢を評価する事ができます。

動脈のおおよその血管年齢が計算できます。同年齢の健常者よりCAVIが高い場合は、それだけ動脈硬化が進んでいると考えられます。

**当院にて透析中の患者様には順次、検査を実施しています。**